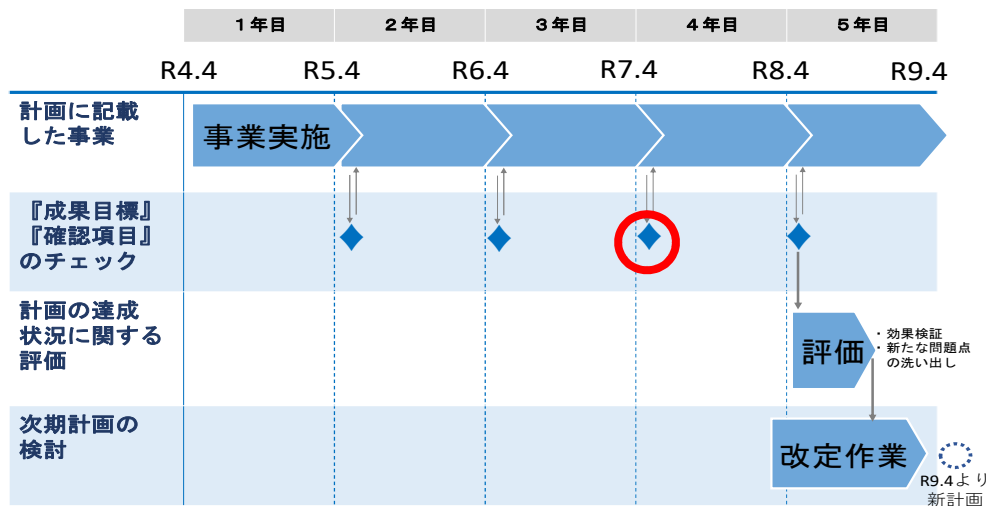


# 岡崎市地域公共交通計画の評価結果について

## 1 はじめに

本市では令和4年3月14日に岡崎市地域公共交通計画を策定し、鉄道事業者やバス事業者、タクシー事業者が連携して公共交通ネットワークの確保・維持、利用促進に取り組むとともに、行政・市民・交通事業者・企業・地域団体などがそれぞれ役割分担をし、設定した目標の実現を目指している。

計画の推進にあたり、目指すところとして「成果目標」を、基本目標の達成度合いをチェックする目的のため「確認項目」を設定し、これらの達成状況を見ながら計画の進捗状況を管理するため、本会議にて計画の目標値について評価を実施するものとする。



## 2 岡崎市地域公共交通計画の概要

(1) 計画期間：令和4年度～令和8年度

(2) 基本理念：新たなくらしと活力の創造を支える交通体系

(3) 成果目標：公共交通利用者数の回復

| 目標値  |               | 達成状況（上段：利用者 下段：目標値に対する達成率） |                      |                      |     |     |
|------|---------------|----------------------------|----------------------|----------------------|-----|-----|
|      |               | R 4                        | R 5                  | R 6                  | R 7 | R 8 |
| 鉄道   | 2,678 万人（R 8） | 2,138 万人（R 3）<br>80%       | 2,284 万人（R 4）<br>85% | 2,414 万人（R 5）<br>90% |     |     |
| バス   | 668 万人（R 8）   | 522 万人（R 4）<br>78%         | 553 万人（R 5）<br>83%   | 545 万人（R 6）<br>82%   |     |     |
| タクシー | 137 万人（R 8）   | 79 万人（R 3）<br>58%          | 101 万人（R 4）<br>74%   | 91 万人（R 5）<br>66%    |     |     |

### ●達成状況・分析

- ・鉄道は令和5年度から利用者数が増加したが、バス、タクシーは令和5年度から利用者数が減少した。
- ・定期利用者が増加している鉄道やバス事業者もあり、通勤・通学需要が回復傾向にあると推察される。

### ●評価・次年度に向けた課題や取組

- ・鉄道事業者と連携してウォーキングイベントを実施。
- ・公共交通事業者と連携し、エコ通勤、ポスターコンクール等の利用促進策を実施。
- ・バス事業者と連携し、実際のバスを利用したバスの乗り方教室を市内の小中学校で実施。
- ・イベント期間中の渋滞及び路線バスの遅延緩和を図り、公共交通の利用を促進するため、パークアンドライドを実施。
- ・高齢者パスの購入費用の一部補助を継続するとともに、市広報誌等で高齢者パス及び補助内容を周知し、公共交通の利用のきっかけづくりを行う。
- ・地域内交通の導入により既存バス路線と連携した移動を確保し、移動総量の増加に繋がるかを検証。
- ・地域内交通の導入に際し、タクシー事業者と連携して事業を実施。

## (4) 基本目標

## ●基本目標 1 交流を支え都市の魅力を高める

| 確認項目                                   | 現況値            | 参考             |
|----------------------------------------|----------------|----------------|
| 都心ゾーンの鉄道駅乗降客数<br>(JR 岡崎駅、愛環岡崎駅、名鉄東岡崎駅) | 2,816 万人 (R 5) | 3,178 万人 (H30) |
| 主要なバス停の乗降客数 (岡崎駅前、東岡崎、康生町)             | 13,541 人 (R 6) | 16,950 人 (H30) |
| サイクルシェアの利用回数                           | 84,953 回 (R 6) | 19,893 回 (R 2) |

## ●基本目標 2 地域のニーズにあった地域主体の交通

| 確認項目                      | 現況値           | 参考            |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 公的資金が投入されている公共交通事業の収支率    | 33% (R 6)     | 37% (H30)     |
| 公共交通への公的資金投入額             | 4.6 億円 (R 6)  | 3.3 億円 (H30)  |
| 市運営路線の利用者数 (額田地域コミュニティバス) | 4,461 人 (R 6) | 5,573 人 (H30) |

## ●基本目標 3 人と環境にやさしい交通

| 確認項目                                | 現況値             | 参考          |
|-------------------------------------|-----------------|-------------|
| 駅のバリアフリー対応                          | 未整備 1 箇所        | 中岡崎駅 (※ 1)  |
| ノンステップバスの導入率                        | 72% (R 6)       |             |
| 高齢者パスの利用回数                          | 2,479 回/日 (R 6) |             |
| 鉄道・バスの沿線 (鉄道駅から 800m、バス停から 300m) 人口 | 298,550 人 (R 6) | 市人口の内、約 78% |

※ 1 令和 6 年度に中岡崎駅・岡崎公園前駅バリアフリー基本構想を策定した。令和 9～10 年度にかけて、バリアフリー化工事を実施予定。

## ●基本目標 4 新たな社会に対応したスマートな交通

| 確認項目                                                               | 現況値             | 参考           |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|
| 情報のオープン化<br>(オープンデータ化)                                             | 6 路線 (R 6)      |              |
| コロナ禍における公共交通への不安<br>(公共交通利用者数の回復)<br>※コロナ前と比較して利用者数の減少が大きい岡崎市内線を対象 | 216 万人 (R 6)    | 260 万人 (H30) |
| IC カードの利用率                                                         | 54% (R 6) (※ 2) | 現金使用者は全体の 8% |

※ 2 定期券利用者は除く。